

# 主婦目線で快適な住まい

## 土足で入れる収納 / 子どもが巣立った後の間取り変更…

子育て世代の主婦8人が間取りや収納を考えたモデル住宅が、長岡京市天神4丁目に完成した。家族の成長に合わせて移設できる台所や間仕切りを取り入れ、永く快適に生活できる住宅を提案している。

### 長岡京にモデル住宅完成



目立ちにくい収納スペースや、子どもの目の高さに合わせて家具を備えたリビング(長岡京市天神4丁目)

## 生活に合わせて暮らせる家に

子どもが実家を離れると、生活の利便性や身体の都合から引越したり、施設へ入居したりするケースが多いことに着目した。30年後を見越した家を作ろうと、1〜12歳の子どものいる知り合いの母親8人に声を掛け、2020年2月に会議を始めた。ビデオ会議や現場での会議など1年半で10回の話し合いを重ねた。

話し合いでは、子どもが幼い時期は室内が汚れやすい、料理や子どもの身支度をする場が離れていて不便、などの経験を共有。生活感を出さずに掃除機などの家電を収納できることなど、アイデアをまとめて同工務店に伝えた。

5月、木造2階建て延べ86平方メートル(29坪)の住宅が完成。日当たりの良い2階をリビングとし台所や洗面台も設けた。1階は個室が必要になった際に、可動式の壁で間取りを変えられることができる。土足で入れる玩具や靴の収納スペースと、大幅な移動を避けられる家事動線は、多数の参加者から要望があり、主婦の理想が詰まった設備になった。

夫婦だけの暮らしを想定した30年後は、配管設備が施されている1階に台所を移せるのも特徴だ。

同工務店の能見太郎代表は「経験から得られた主婦の知恵をいかして、生活に合わせて暮らせる家を勧めたい」と話した。

見学会を19、20日に開催する。要予約。問い合わせは能見工務店(963) 6208か、ホームページから。(梶原蓮菜)



子育て中の母親からの要望が多かった土足で入れる靴や玩具の収納スペース